

世 界 史

(問 題)

2019年度

〈2019 H31133423〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文章を読み、設問 1～4 に答えなさい。

人や物、知識や技術の交流は、人間社会の発展にとって重要な役割を果たしてきた。たとえば、食料生産革命として知られる獲得経済から生産経済への移行は、固有の生態系の中から植物の栽培化が始まった地域と、ヨーロッパのように西アジア起源の農耕文化を取り入れた地域がある。いずれの地域でも食料生産の開始に伴い、定住化や社会の階層化が進み、のちに都市や国家が誕生した。それらの中には交易により繁栄したフェニキア人の海港都市国家などが知られているが、彼らが用いたフェニキア文字からは、アラビア文字などの母体となった C や、ラテン文字などの母体となったギリシア文字が生まれた。また、イランを中心に信仰されたゾロアスター教の善悪二元論や最後の審判という概念が、のちのユダヤ教やキリスト教に影響を及ぼしたとされている。

設問 1 下線部 A について、メソポタミアからシリア・パレスチナにまたがる地域をプレステッドは何と命名したか。

記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B について、フェニキア人の海港都市国家として正しくないものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア カルタゴ イ テイルス ウ シドン エ シラクサ

設問 3 空欄 C にあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D について、ゾロアスター教の中国での呼称は何か。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 祇教 イ 摩尼教 ウ 回教 エ 景教

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

A ヘロドトスの『歴史』はB ペルシア戦争史を主題としているが、その内容はペルシア帝国を中心にした当時の世界史となっている。それはヘロドトスが、ギリシアではなく、世界帝国であるペルシアに軸足を置いて『歴史』を記述したからである。ヘロドトスは、キュロス 2 世に始まるペルシアの歴代皇帝の治世を語りながら、彼らが遠征した際にはその遠征先の風土や歴史を併せて叙述した。例えば、カンビュセス 2 世はC エジプトを征服したが、このカンビュセス 2 世のエジプト遠征との関連で、「エジプトはナイルの賜物」という言葉やピラミッド建造時の話が出てくるのである。カンビュセス 2 世に続いて、D ダレイオス 1 世、さらにクセルクセス 1 世がペルシアの皇帝となるが、ペルシア戦争は彼らの行った遠征であった。

設問 1 下線部 A の人物はハリカルナッソスの出身であるが、この都市は現在のどこの国にあったか。その国名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B の戦争に関して述べた下記の文ア～エのうち、正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ミルティアデスに率いられたアテネ軍は、マラトンの戦いでペルシア軍に敗北した。
- イ パウサニアスに率いられたギリシア連合軍は、プラタイアの戦いでペルシア軍に勝利した。
- ウ ペイシストラトスに率いられたスパルタ軍は、サラミスの海戦でペルシア軍に勝利した。
- エ レオニダスに率いられたスパルタ軍は、テルモピレーの戦いでペルシア軍に勝利した。

設問 3 下線部 C の地域を支配した国とその国の支配者の組み合わせとして誤っているものを、下記のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アッシリア — アッシュル＝バニパル
- イ ローマ帝国 — ディオクレティアヌス
- ウ ビザンツ帝国 — ホスロー 1 世
- エ ウマイヤ朝 — アブド＝アルマリク

設問 4 下線部 D の皇帝の時代のペルシア帝国に関して述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 各州にサトラップが置かれていた。
- イ 「王の目」、「王の耳」と呼ばれる監察官が置かれていた。
- ウ 「王の道」が建設された。
- エ その領土は、東はガンジス川に及んだ。

設問 5 下線部 D の皇帝は、黒海北岸の遊牧民に対して遠征を行ったことがあったが、この皇帝の遠征を受けた遊牧民の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

A 海峡を中心とした一帯は、古くから交通の要衝である。この地で7世紀に成立したシュリーヴィジャヤ王国は海上交易に積極的に携わり、唐にも朝貢した。活発な交易を裏付けるように、現在でもこの地域一帯では古い中国産陶磁器、西アジア産陶器や各地のコインが出土している。

また交易品だけでなく、この地域は世界宗教も受け入れている。たとえば唐代の求法僧である **B** はシュリーヴィジャヤ王国に滞在し、**C** 仏教が盛んな様子を記しているし、シャイレンドラ朝では世界最大の仏教遺跡であるボロブドゥールが建造された。後にはイスラームがもたらされ、現在では非常に多くのムスリム人口を抱えている。

交易の時代と呼ばれる15～17世紀には、その名の通り交易活動が活発化し、**D** 西欧各国の東インド会社が設立された。とくに **E** はアンボイナ事件後に領土拡大に乗り出し、最終的には **E** 領東インドを成立させた。また、19世紀前半にはある植民地帝国がこの地域で、**A** ・ペナン・ **F** を海峡植民地として成立させ、権益を確保している。

設問 1 上述の地域の説明として、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 4世紀末から5世紀になると、「インド化」とよばれる諸変化が生じた。
- イ 「海の道」の主要ルート上にあり、港市国家がいくつも建設された。
- ウ 19世紀後半には錫の利権争いが生じた。
- エ 洪武帝の命を受けた鄭和が遠征を繰り返した。

設問 2 空欄 A と空欄 B に入る適切な語の組み合わせを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア A マラッカ B 義浄
- イ A ホルムズ B 法顕
- ウ A ホルムズ B 義浄
- エ A マラッカ B 法顕

設問 3 下線部 C の成立した時代の説明として、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 都市国家が成長し、コーサラ国、マガダ国などが有力となった。
- イ バラモン教の祭式や聖典の権威を否定する考えが、仏教以外にもうまれた。
- ウ 政治・経済の中心はガンジス川中・下流域であった。
- エ ヴェーダ時代とよばれ、ヴァルナ制が成立した。

設問 4 下線部 D の説明として、誤っている記述を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 空欄 E 東インド会社の根拠地は、現在のジャカルタにあった。
- イ フランス東インド会社は一時活動を停止していたが、宰相マザランのもとでインドに進出した。
- ウ 平戸、ボンダイシエリ、ボンベイなどにそれぞれの会社の拠点があった。
- エ 各国の東インド会社が金や銀をインドへもちこんだことは、インド社会の変化の要因となった。

設問 5 空欄 F にあてはまる語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

イスラーム世界を代表する歴史家・思想家として名高いイブン＝ハルドゥーンは、1332年にチュニスに生まれた。若くしてイスラーム諸学を修めた後、20代から40代にかけては、学問の研鑽を積みつつ、北アフリカやイベリア半島のイスラーム王朝に仕え、政治にも深くかかわった。しかし43才で政治の世界から身を引いて隠棲し、著作活動に専念した。彼の著作として名高い **B** は、長大な通史『イバルの書』の序論部分にあたる。50才近くになった1382年にはマムルーク朝の首都カイロへ移り住み、スルタンら有力者の庇護のもと、裁判官（カーディー）や学院（マドラサ）の教授、スーフィーの修道場の長などを務めた。彼は1406年にカイロで没するが、その晩年、1400年に **E** がシリアへ侵攻した際には、マムルーク朝の防衛軍に随行し、翌年ダマスカス郊外で **E** と会見を果たしたことが知られている。

設問 1 下線部 A について、イブン＝ハルドゥーン時代のこの地域の状況として正しいものを次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イベリア半島ではコルドバを都とする後ウマイヤ朝が栄えていた。
- イ 北アフリカでは、ベルベル人のイスラーム運動によって成立したムラービト朝が勢力を伸ばし、イベリア半島に進出を始めた。
- ウ 北アフリカでは、ムラービト朝を批判するイスラーム改革運動の結果ムワッヒド朝が成立し、ムラービト朝と争っていた。
- エ イベリア半島では、キリスト教徒による国土回復運動（レコンキスタ）が進む中、ナスル朝がグラナダを拠点に勢力を保っていた。

設問 2 空欄 B にあてはまる語句を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 C について、次のうちから誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 親衛隊のマムルーク軍団がアイユーブ朝の君主を廃し、成立した。
- イ 第5代スルタンのバイバルスは、アッバース朝のカリフをカイロに復活させ、メッカ・メディナを保護下におさめることで、王朝の権威を高めた。
- ウ イェルサレム王国の最後の拠点アッコンを陥落させた。
- エ 1517年にオスマン帝国のスレイマン1世の前に敗れ、滅亡した。

設問 4 下線部 D について、高名なスーフィーは聖者とみなされ、12世紀になると各地で聖者を指導者とする神秘主義教団が数多く誕生した。スーフィーや神秘主義について、次のうちから誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア スーフィーと神秘主義教団の活動は、イスラーム教がインドやアフリカなど各地に伝播するうえで大きな役割を果たした。
- イ ガザーリーはスーフィーの活動を批判し、神秘主義批判を理論化した。
- ウ イランの神秘主義教団の長であったイスマーイールは、教団信者のトルコ系遊牧民を束ね、サファヴィー朝を建国した。
- エ イブン＝アブドゥル＝ワッハーブは神秘主義を激しく批判し、その思想はその後のイスラーム改革運動に影響を与えた。

設問 5 空欄 E にあてはまる人物は、チャガタイ＝ハン国の分裂抗争の中から頭角をあらわし、西トルキスタンを統一した後、イラン・イラクにまでまたがる広大な地域に領土を広げ、北インドやアナトリアにも遠征した。この人物名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔V〕 次の史料を読み、設問 1～6 に答えなさい。

2.3. こうして A 侯たち、あるいは使節たちが…中略…誓約を行った後、彼らは選挙に入るべきである。そしてそれ以降、彼らのうちの過半数が、この世界あるいはキリスト教徒たちの首長、すなわち B ローマ人たちの王であり皇帝 となるべき人物を選出するまでは、彼らはフランクフルトの町を離れるべきではない。

2.4. こうして、この場所において、彼らあるいは彼らの過半数が王を選出した場合には、これにより選挙は、彼ら全員の一致により、一人の反対者もなく行われたとみなされなければならない。…中略…上記の方法でローマ人たちの王 C に選出された者は、選挙が終了した後ただちに、他の何らかの用件や職務を神聖帝国の権力で執り行う前に、神聖帝国の最も近い成員であることが知られている聖俗の A 侯たち全員および一人一人に対して、彼らのあらゆる特権、詔書、権利、自由…中略…を、遅延や異論なく、自らの詔書と印章によって確認し、承認すべきであり、また彼が皇帝の冠で戴冠した後、これらすべてを更新すべきである。

5.1. しかし、もしも神聖帝国が空位になった場合には、神聖帝国の内膳頭である英明なる D ライン宮中伯が、…中略…諸侯としての資格により、あるいは宮中伯としての権利により、この帝国の代理人となり、裁判を開催し、聖職禄の候補者を推薦し、収入や収益を徴収し、封を授与し、そして神聖帝国の名において誠実宣誓を代行して受ける権限をもつべきである。

(出典：ヨーロッパ中世史研究会編『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年より一部修正・割愛して抜粋)

設問 1 本史料の条文をもつ文書の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 本史料の条文をもつ文書が発表された理由として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 皇帝権が強いため、諸侯が団結して皇帝に抵抗する必要があったから。
- イ 黒死病が流行したため、領主が農民を手厚く保護しなければならなくなったから。
- ウ 空位による混乱を避け、教皇による政治的干渉を排除する必要から。
- エ 自由都市が商業上の利益や特権を守っていく必要から。

設問 3 空欄 A に当てはまる語句を漢字二文字で記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 B に関連して、本史料の文書を発布した皇帝の名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア カール大帝 イ オットー 1 世 ウ カール 4 世 エ ルドルフ 1 世

設問 5 下線部 C に関連して、選挙王政ないしは選挙帝政を法制化したことがあるヨーロッパの国の名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イングランド王国 イ ポーランド＝リトアニア共和国 ウ モスクワ大公国 エ フランス王国

設問 6 下線部 D に関連して、空欄 A の侯には、ライン宮中伯などの俗界の諸侯のみならず、聖界の諸侯も加わった。その聖界諸侯の名として正しいものを、次のア～エのなかから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ヴォルムス司教 イ ローマ教皇 ウ カンタベリー大司教 エ ケルン大司教

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

琉球王国は、明から冊封を受けて朝貢貿易を営み、中国・日本・東南アジアなどの間を結ぶ中継貿易によって繁栄したが、東南アジア方面との貿易は16世紀末までに衰退した。17世紀初めから、琉球王国は薩摩の強い統制を受けるようになるが、中国との関係も継続し、明に代わって清が中国を支配すると、あらためて清から冊封を受けて朝貢を行った。しかし、明治維新後の日本は、琉球を沖縄県として直轄支配を進めた。そのため、日本と清の間で琉球をめぐる交渉が行われ、その過程で、琉球を二分して宮古・八重山に清の宗主権下で琉球王国を存続させる「分島案」が浮上した。

台湾では、反清活動を行っていた鄭氏勢力が17世紀後半にここを根拠地とし、三藩の乱が起こるとこれに呼応したが、乱の終結後に鄭氏も降伏し、清は現在の台南に台湾府を置いた。上述の琉球をめぐる交渉の後、清は台湾を省に昇格させ、統治の強化とインフラの整備を進めたが、日清戦争後の下関条約によって、台湾は澎湖諸島・遼東半島とともに日本に割譲されることが取り決められた。

設問 1 下線部 A の原因として考えられることを次のア～エから二つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア スマトラやジャワに成立したイスラーム国家が、異教徒を貿易から排除した。
- イ 明の海禁体制が緩み、中国商人が海上貿易に進出した。
- ウ ポルトガル人が、東南アジア・中国・日本を結ぶ貿易の担い手として参入した。
- エ オランダとイギリスの抗争のため、海上交通の安全がおびやかされた。

設問 2 下線部 B の関係の中で、琉球側が行わなかったことを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 琉球国王は清から国王印を受領し、使用する。
- イ 琉球から清に送る文書に清の年号を使用する。
- ウ 琉球の朝貢使は、清の皇帝に謁見するとき三跪九叩頭を行う。
- エ 琉球の男性はみな辮髪にする。

設問 3 下線部 C の交渉に関する記述として適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 日本側は、清側の提出した分島案に強硬に反対し、台湾出兵を行って圧力を加えたが、清側も譲歩せず、交渉は結着しなかった。
- イ 琉球から清に亡命した人々（脱清人）が、宮古・八重山だけでは王国が存続できないとして分島案に反対したことが一因となって、交渉は結着しなかった。
- ウ 清の政府内では、日本側の提出した分島案を受け入れる意見が多かったが、康有為らの変法派が強硬に反対したため、交渉は結着しなかった。
- エ 清側の提出した分島案を日本側が拒否したため、清側は譲歩し、日清修好条規によって琉球（沖縄）全土を日本領とすることが取り決められた。

設問 4 下線部 D に関連する記述として適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 三藩の中心であった呉三桂は、当初は南京に明の皇族を擁立したが、清軍に敗れて雲南に移動し、ここを根拠地とした。
- イ 三藩側がポルトガルと連携したため、康熙帝はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を中国から追放した。
- ウ ジュンガルのガルダンが三藩と連携して内モンゴルに侵入したため、康熙帝は自ら軍を率いて遠征し、ガルダンを破った。
- エ 鄭氏の降伏後、康熙帝は海禁を緩め、中国商船の海外への出航や、広州などへの外国船の来航を認めた。

設問 5 下線部 E 以外にこの条約で決められた事柄を二つ、記述解答用紙の所定欄①、②に記しなさい。

〔Ⅶ〕 次の文章は、ある国際機関で採択された決議の一部であり、ある地域の統治について述べている。
これを読んで、設問 1～4 に答えなさい。

1. 〔この地域の〕委任統治は 年 8 月 1 日までは終了すること。
2. 〔この地域の委任統治を任された〕^B受任国の軍隊は、この地域から 年 8 月 1 日までに撤退すること。^B受任国は、〔この地域に今後移住してくる〕^B相当な数の移民のために十分な施設となる港湾およびその周辺地域を含む 国家の領域に位置する地域から 年 2 月 1 日までに撤退すること。
3. の独立および 国家の建設は、^B受任国の軍隊の撤退が完了してから二ヶ月間で成し遂げられなければならない。

（出典：歴史学研究会編『世界史史料』岩波書店、2012年より一部修正・割愛して抜粋）

設問 1 この決議は、空欄 A の年の前年に決議されたものである。空欄 A の年に起こった出来事の説明として最も適切なものを次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア スカルノがインドネシア共産党を結成した。

イ ヤルタ会談で米ソが接近したことを契機として、ブレトン＝ウッズ会議で第二次世界大戦後の経済体制が構想された。

ウ ヨーロッパで激化していた東西両陣営の対立を受けて、ベルリンの米英仏管理区域をソ連が封鎖した。

エ ソ連でブレジネフがスターリン批判を行うとともに、訪米してアイゼンハワー大統領と会談した。

設問 2 下線部 B の国名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 空欄 C と D に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア C イスラーム教徒 D ヒンドゥー教徒

イ C マレー人 D 華人

ウ C アルバニア人 D コソヴォ

エ C ユダヤ D アラブ

設問 4 この決議で対象となっている地域はどこか。地域の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅷ〕 次の文章を読み、図1～4を見て、設問1～6に答えなさい。

建物を飾る壁画や装飾絵画は、面積の大きさを活かし、宗教、歴史、思想、政治など、いろいろな主題を人びとに強く訴えるための手段として各時代、各地域にて制作されてきた。図1～4はその代表例である。

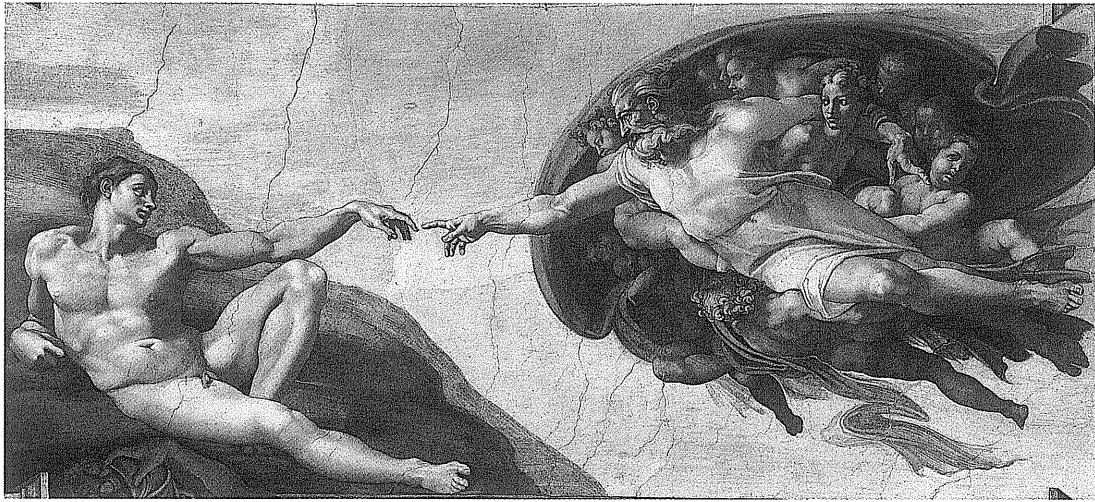


図1 《アダムの創造》



図2 《マリーのマルセイユ到着》

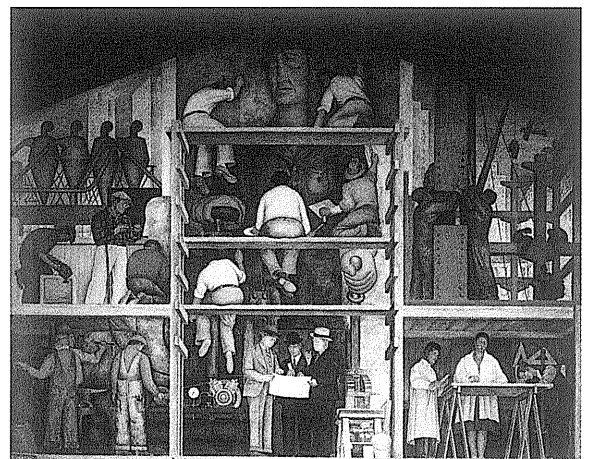


図3 《フレスコ画の制作》



図4 《睡蓮：緑の反映》

設問1 図1は、ミケランジェロが描いた作品の一部で、旧約聖書において神がアダムを創造するところを表わしたものである。生命を吹きこむために指先を触れ合うポーズは、現代に至るまでさまざまな図像表現に大きな影響を与えて親しまれている。この作品が描かれている場所はどこか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア システィナ礼拝堂 イ ピサ大聖堂 ウ サンタ＝マリア大聖堂 エ サン＝ヴィターレ聖堂

設問2 図2はパリのリュクサンブール宮殿の壁を装飾するために描かれた24点からなる連作のうちの1点である。この連作は、の妻マリー＝ド＝メディシスの生涯を主題としたもので、ここではマリーが1600年、結婚のため渡仏し、マルセイユ港に降り立った様子がとらえられている。この作品はマリーの注文により、フランドル派を代表する画家が制作した。空欄A、Bにあてはまる人名を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア A アンリ3世 B エル＝グレコ
イ A アンリ4世 B ルーベンス
ウ A ルイ13世 B レンブラント
エ A ルイ14世 B フェルメール

設問3 図2にみられるような躍動感に富んだドラマティックな表現は、17世紀から18世紀にかけて流行した様式である。「歪んだ真珠」の意味をもつとも言われているこの様式を何というか。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 図3はディエゴ＝リベラが手がけた作品で、壁画を描く人びとを中心に、建築現場や工場で働く労働者の姿が描かれている。リベラはシケイロスとともに労働や産業、民族的伝統を壁画に描くことで多くの人びとに訴える「壁画運動」を展開したが、この運動が展開された地はどこか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

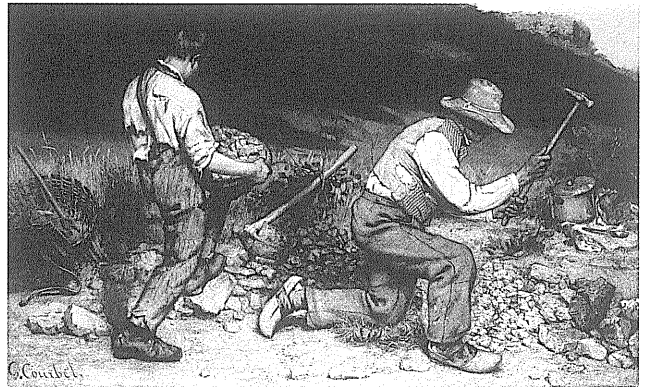
ア メキシコ イ チリ ウ キューバ エ ブラジル

設問5 図4は、パリにあるオランジュリー美術館の睡蓮の部屋を飾る8点の作品のうちの1点である。首相クレマンソーの尽力により設置されたもので、楕円形の2つの部屋には各4点ずつの絵が置かれており、中に入ると、まるで睡蓮の池の中にいるように感じられる。作者は誰か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

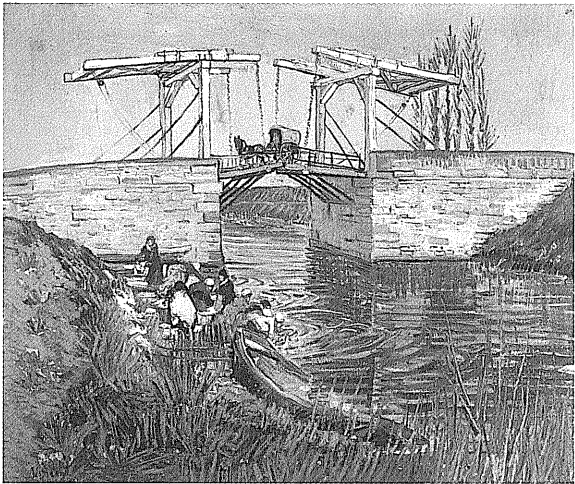
設問 6 図 4 と同じ様式で描かれた絵はどれか。次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。



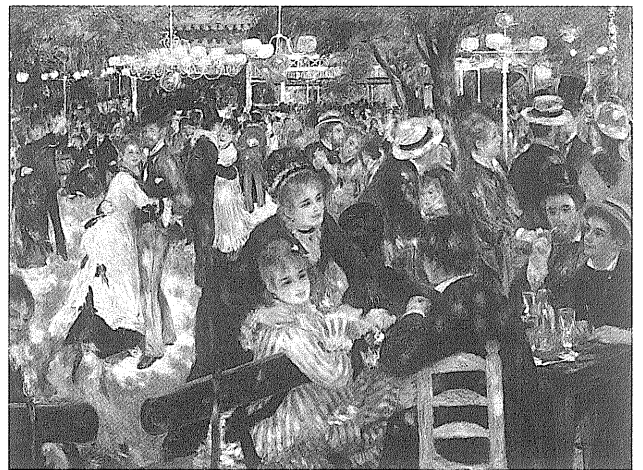
ア 《カード遊びをする人びと》



イ 《石割り》



ウ 《アルルの跳ね橋》



エ 《ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット》

〔以 下 余 白〕

